

第5次レッドデータブック：  
絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

グスクカンアオイ

*Asarum gusk*

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. グスクカンアオイ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Asarum gusk* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

# グスクカンアオイ

*Asarum gusk***カテゴリー判定結果** 絶滅危惧 I A 類 (CR) 基準 D

推定開花株数が 50 個体未満。

評価分科会： 維管束植物分科会

## 基礎情報

### 【形態】

葉身は長さ 8-9 cm、卵状三角形、基部は心形、暗緑色で光沢はない。葉の縁や葉脈、葉柄に毛が散生する。花は淡褐色～緑褐色。萼筒は長さ 11 mm、上方に向かって細くなり、とっくり状。萼裂片は長さ 7 mm、表面はなめらかで無毛、縁が反り返ることがある。

### 【生活史】

多年草。花期は 3-4 月。

### 【生育環境】

山地の常緑広葉樹の林床に生育。

### 【分布域】

奄美大島に分布。

## 現在の生育状況

### 【生育地の現況】

2018 年調査では詳細な個体数情報は得られなかった。過去の調査結果を基に、基準 D により CR とした。

## 現地調査の集計結果 2018 年調査

### 【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1 番目	2 番目	3 番目
要因 自然遷移		
件数		

1		
---	--	--

## 特記事項

特になし

## 旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	グスクカンアオイ	<i>Asarum gusk</i>	CR
第4次 2019:	グスクカンアオイ	<i>Asarum gusk</i>	CR
第4次 2018:	グスクカンアオイ	<i>Asarum gusk</i>	CR
第4次 2017:	グスクカンアオイ	<i>Asarum gusk</i>	CR
第4次 2015:	グスクカンアオイ	<i>Asarum gusk</i>	CR
第4次:	グスクカンアオイ	<i>Asarum gusk</i>	CR
第3次:	グスクカンアオイ	<i>Asarum gusk</i>	CR
第2次:	グスクカンアオイ	<i>Heterotropa gusuk</i>	VU
第1次:	—	—	—

## 都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

鹿児島県[絶滅危惧Ⅰ類]

## 保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

## 参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2015．改訂新版日本の野生植物 1．391pp., 272pls. 平凡社，東京．

## アセスメントサマリー（Assessment summary）

*Asarum gusk* has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Asarum gusk* is listed as CR under criteria D.

D. Population size estimated to number fewer than 50 mature individuals.

Threat types:	Natural succession
---------------	--------------------

Law designation status for conservation	—
---	---

執筆者:	日本植物分類学会
Author:	Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月